

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGsの達成を目指し、Mastery for Serviceを体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける5つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
AIの学習目標	
SDGsの達成に向け、社会で利用されているAIに関する見識を広げ、AI活用スキルを身につける	
1. 社会でAIが活用されている事例を知り、AIの役割や機能を語ることができる	
2. AIの様々な側面を理解したうえで、AIの活用法について議論できる	
3. AIを活用してSDGsの各課題の解決案を提案することができる	

授業日	4/12(火)	1 学期授業回数	1 回目 / 全 9 回																																														
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「AI 活用とは・・・である (AI に出来ることできないこと)」と自分の言葉で AI のイメージを語る事が出来る。 ・今後実施する学びの記録/様々なグループワークやプレゼン、シンキングツールなどについて触れる。 																																																
時間 授業内容	45 5 10 30	<p>3 科目合同オリエンテーション</p> <p>学びの記録について再度解説</p> <p>「ドローンと AI」に関わる動画 2 本を視聴</p> <p>個人ワーク：AI のイメージを書き出す</p> <p>ペアワーク：シンキングツールを用いてイメージを共有する</p> <p>ポスターセッション：1 枚のカードにまとめた共有したイメージをポスターセッション形式で他者に発表する</p> <p>まとめ：「AI 活用とは・・・である」という 1 文を作成して提出</p>																																															
評価方法	<p>学びの記録</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>知識/技術</th> <th>意見/考察</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>自分の観点を持って内容を処理、記述している。 情報がしっかりと整理されている。</td> <td>知識と知識/意見/考察が有機的につながる記述が多くみられる。 深い洞察とクリエイティブな広がりが見られる。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>内容をある一定程度処理、記述している。 ある程度情報が整理されている。</td> <td>多少有機的な考察が見られる。 多くが短絡的・表層的な感想や意見、疑問にとどまっている。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>情報の量/質が不十分である。 情報が整理されておらず羅列になっている。</td> <td>感想や意見、疑問の量/質が不十分である。</td> </tr> </tbody> </table> <p>次回の 3 分間プレゼンのルーブリック (事前に提示)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>観点</th> <th>説明</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目的</td> <td>プレゼンテーションの目的を聞き手に伝えられたか</td> <td>プレゼンテーションの目的を明確に相手に示し、聞き手に伝わったことを確認できた。</td> <td>プレゼンテーションの目的を聞き手に示す部分があった。</td> <td>プレゼンテーションの目的を聞き手に示せなかった。</td> </tr> <tr> <td>論点</td> <td>プレゼンテーションの論点が明確であったか。</td> <td>発表の目的に沿った論点が明確に説明されていた。</td> <td>発表の目的に沿った論点が示される部分があった。</td> <td>発表の目的に沿った論点が示されなかった。</td> </tr> <tr> <td>考察</td> <td>考察が示されていたか。</td> <td>動画の内容に沿った自分なりの考察が3か所以上示されていた。</td> <td>動画の内容に沿った自分なりの考察が1, 2か所示されていた。</td> <td>動画の内容に沿った自分なりの考察がなかった。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">スライド</td> <td>分かりやすく作られていたか。</td> <td>全ページがキーワード・キーフレーズのみで作られていた。</td> <td>キーワード・キーフレーズのみで作ることに配慮していたページもあった。</td> <td>多くのページでキーワード・キーフレーズのみで作ることに配慮していなかった。</td> </tr> <tr> <td>見やすく作られていたか。</td> <td>全ページでフォント・色使い、余白などに配慮していた。</td> <td>フォント・色使い・余白などに配慮していたページもあった。</td> <td>多くのページでフォント・色使い・余白などに配慮していなかった。</td> </tr> <tr> <td>スピーチ</td> <td>姿勢・表情・視線・ジェスチャーなど非言語的に表現が適切に用いられていたか。</td> <td>聞き手の反応を確認しつつ、姿勢よくアイコンタクトも用いていた。</td> <td>良い姿勢やアイコンタクトなどを取ろうと努めていた。</td> <td>うつむきがちで聞き手の反応を確認する様子が見えなかった。</td> </tr> </tbody> </table> <p>チェックリスト (形式)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 表紙にタイトル、学年、クラス、番号、名前、発表日時を記載している。 <input type="checkbox"/> 発表時間の3分の±10%におさまっている。(練習をした結果) 				知識/技術	意見/考察	A	自分の観点を持って内容を処理、記述している。 情報がしっかりと整理されている。	知識と知識/意見/考察が有機的につながる記述が多くみられる。 深い洞察とクリエイティブな広がりが見られる。	B	内容をある一定程度処理、記述している。 ある程度情報が整理されている。	多少有機的な考察が見られる。 多くが短絡的・表層的な感想や意見、疑問にとどまっている。	C	情報の量/質が不十分である。 情報が整理されておらず羅列になっている。	感想や意見、疑問の量/質が不十分である。	観点	説明	A	B	C	目的	プレゼンテーションの目的を聞き手に伝えられたか	プレゼンテーションの目的を明確に相手に示し、聞き手に伝わったことを確認できた。	プレゼンテーションの目的を聞き手に示す部分があった。	プレゼンテーションの目的を聞き手に示せなかった。	論点	プレゼンテーションの論点が明確であったか。	発表の目的に沿った論点が明確に説明されていた。	発表の目的に沿った論点が示される部分があった。	発表の目的に沿った論点が示されなかった。	考察	考察が示されていたか。	動画の内容に沿った自分なりの考察が3か所以上示されていた。	動画の内容に沿った自分なりの考察が1, 2か所示されていた。	動画の内容に沿った自分なりの考察がなかった。	スライド	分かりやすく作られていたか。	全ページがキーワード・キーフレーズのみで作られていた。	キーワード・キーフレーズのみで作ることに配慮していたページもあった。	多くのページでキーワード・キーフレーズのみで作ることに配慮していなかった。	見やすく作られていたか。	全ページでフォント・色使い、余白などに配慮していた。	フォント・色使い・余白などに配慮していたページもあった。	多くのページでフォント・色使い・余白などに配慮していなかった。	スピーチ	姿勢・表情・視線・ジェスチャーなど非言語的に表現が適切に用いられていたか。	聞き手の反応を確認しつつ、姿勢よくアイコンタクトも用いていた。	良い姿勢やアイコンタクトなどを取ろうと努めていた。	うつむきがちで聞き手の反応を確認する様子が見えなかった。
	知識/技術	意見/考察																																															
A	自分の観点を持って内容を処理、記述している。 情報がしっかりと整理されている。	知識と知識/意見/考察が有機的につながる記述が多くみられる。 深い洞察とクリエイティブな広がりが見られる。																																															
B	内容をある一定程度処理、記述している。 ある程度情報が整理されている。	多少有機的な考察が見られる。 多くが短絡的・表層的な感想や意見、疑問にとどまっている。																																															
C	情報の量/質が不十分である。 情報が整理されておらず羅列になっている。	感想や意見、疑問の量/質が不十分である。																																															
観点	説明	A	B	C																																													
目的	プレゼンテーションの目的を聞き手に伝えられたか	プレゼンテーションの目的を明確に相手に示し、聞き手に伝わったことを確認できた。	プレゼンテーションの目的を聞き手に示す部分があった。	プレゼンテーションの目的を聞き手に示せなかった。																																													
論点	プレゼンテーションの論点が明確であったか。	発表の目的に沿った論点が明確に説明されていた。	発表の目的に沿った論点が示される部分があった。	発表の目的に沿った論点が示されなかった。																																													
考察	考察が示されていたか。	動画の内容に沿った自分なりの考察が3か所以上示されていた。	動画の内容に沿った自分なりの考察が1, 2か所示されていた。	動画の内容に沿った自分なりの考察がなかった。																																													
スライド	分かりやすく作られていたか。	全ページがキーワード・キーフレーズのみで作られていた。	キーワード・キーフレーズのみで作ることに配慮していたページもあった。	多くのページでキーワード・キーフレーズのみで作ることに配慮していなかった。																																													
	見やすく作られていたか。	全ページでフォント・色使い、余白などに配慮していた。	フォント・色使い・余白などに配慮していたページもあった。	多くのページでフォント・色使い・余白などに配慮していなかった。																																													
スピーチ	姿勢・表情・視線・ジェスチャーなど非言語的に表現が適切に用いられていたか。	聞き手の反応を確認しつつ、姿勢よくアイコンタクトも用いていた。	良い姿勢やアイコンタクトなどを取ろうと努めていた。	うつむきがちで聞き手の反応を確認する様子が見えなかった。																																													
宿題指示	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの記録を翌日の昼までに提出 ・AI 入門講義動画「第 1 講：AI と AI 活用人材」「第 2 講：AI が活用される社会」を観て、ペアでどちらか 1 つの発表資料 (3 分間) を作成する 																																																